

643回 ～2020春号 配信しています～



元気な農山漁村をつかっていきたい。農山漁村の自然や景観の保全活動に関わりたい。

農楽里(norari)は、農山漁村づくりに関心のある方、参加してみたい方、すでに参加している方を対象に、県内各地の地域情報を発信し、新たなコミュニケーションの場づくりを提供する職員手作りの情報誌です。

【最新号】vol.36 2020春号は、山形県農林水産部農村計画課のHPで配信されており、ご覧になることができます。

やまがたの農山漁村づくり情報マガジン「農楽里(norari)」

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/140017/norari.html>



特集
農の未来を拓く人々

今回の特集は、『農の未来を拓く人々』
若手農業者の活躍を特集しています。

庄内からは、東京で就職後Uターンし、月山高原で農業に取り組んでいる"ベジパレット"の紹介をしています。

耕作放棄地の解消に向けた取り組みをしたり、農業イベントを開催し地域で楽しめる場所の提供をしたりと、農業をするなら庄内にならえと言われるような農業を目指し活動しています。

ほかには、鶴岡市温海地域の(株)温海農地保全組合の加工品の掲載もしていますのでぜひご覧ください。

644回 ～春の風物詩「桜」～



今日は、今が見頃の春の風物詩「桜」をお届けします。
撮影場所は、酒田市あきほ町にある新小牧川です。
天気が良くぽかぽか陽気の4月12日に撮影しました。



桜並木沿いには、歩行者(自転車)用の道が整備されており、桜を眺めながら散歩することができます。

外出を控え運動不足になられている方も多いと思います。
少しの時間気分転換として、春の風物詩を楽しみながら散歩などをして体を動かしてみたいかがでしょうか。

645回 ～農作業と菜の花～



本日は、三川町の春景色をお届けします。

一つ目は、春の農作業風景です。

三川町天神堂地区のほ場で、株式会社まいすたあが今シーズンの稲作の準備と、ほ場の大区画化に向けた作業を行っていたので、お話を伺い、写真撮影させていただきました。



二つ目は、三川町の花「菜の花」です。

春に見頃を迎える菜の花は、鮮やかな黄色の花を咲かせていました。



646回 ～農地地すべり防止区域及び地すべり危険地の点検開始～

山形県が管理する農地地すべり防止区域6地区と、地すべり危険地4地区の点検が始まりました。

管内の農地地すべり防止区域では、各地区に農地地すべり巡視員を委嘱し、定期的に点検をしてもらいます。

例年は4月初旬に、管内の農地地すべり巡視員の方々が集まり、委嘱状交付を行っています。今年も3密を避けるために個別に職員が委嘱状の交付を行い、点検のポイント等を説明しました。



鬼坂峠地区地すべり巡視員へ説明



排水状況の確認



集水井の内部確認

地すべりから農地や農業用施設を守るため、これから各地で点検が行われていきます。

647回 ～地下かんがいシステム～



令和2年4月23日(木)に、庄内町高田麦地区の県営工事で完成した施設の使用方の説明会が開催されました。

本地区で導入した、地下かんがいシステムの使用法・注意事項等が施工業者から説明されるもので、地元農家8名が参加しました。

地下かんがいシステムを有効活用していただくことを望みます。



648回 ～山形で唯一海が見える棚田20選～



やまがたの棚田20選『暮坪の棚田』をお届けします。

ここは、国道7号線から繋がる農道を登ったところにある県内唯一の「海が見える棚田」です。

展望台に設置された東屋からは、棚田と日本海。遠くには栗島(新潟県)を見ることができます。



海を眺めながらの農作業はとても気持ちが良いそうです。

毎年、地区の子供たちを集めて田植え体験会を実施していますが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、自粛するとのことです。

山形県で発行している棚田カードについても、現在は配布を中止しているところですが、棚田の素晴らしさやそれらを守る地域の活動を広めていければと願っています。

一緒に棚田を応援しましょう。

649回 ～豊富な湧水『越沢の棚田』～



やまがたの棚田20選『越沢の棚田』をお届けします。

越沢の棚田は、ふもとの集落からは想像がつかない場所に11ha程広がり、昔から地域の人々に愛されています。

豊富な湧水が育む棚田米は評判が良く、日本酒の原料として地元由来する「摩耶山」「摩耶姫」の銘柄で当地で販売されています。



地元の方々に設置した東屋からは越沢の棚田を一望することができます。



棚田内には、こうこうと湧き出る名水「郷清水」があり、訪れる人の心とからだをも潤しています。

山形県で発行している棚田カードについては、現在配布を中止しているところですが、棚田の素晴らしさやそれらを守る地域の活動を広めていければと願っています。

一緒に棚田を応援しましょう。

650回 ～ドローンを活用～



本日は、庄内総合支庁農村整備課が発注し、ほ場整備を実施する金森目地区と、常万地区の施工前の状況をドローンで空撮しました。

工事の進捗状況の確認や説明資料などに活用するため、今後も撮影を続ける予定です。



金森目地区



常万地区

また、5月も半ばになり、庄内平野各地では田植えをしている様子をよく見かけるようになりました。



今年もおいしいお米ができますように。

651回 ～めだかの里米田植え体験学習～



5月25日(月)に、庄内町家根合のめだかの里米水田で、余目第一小学校4年生児童約40名が参加する田植え体験学習が行われました。

家根合地区では、平成11年のほ場整備事業をきっかけに、地区に生息するメダカの保全活動が始まり、これまで様々な取り組みをしてきました。その一環である今回の田植え体験学習は、降雨により2回延期となりましたが、本日無事に開催されました。

最上川土地改良区の方から、田んぼの水についてクイズ形式で解説していただき、子供たちは元気にクイズに答えていました。



クイズの後はお待ちかねの田植えです。元気いっぱい田植えをしました。



これから、メダカの放流や稲刈り体験などの活動が予定されています。引き続き、家根合地区の活動を応援していきます。

652回 ～環境配慮対策の検討～



6月1日(月)に、酒田市旧八幡で事業実施が予定されている2地区の生き物調査を行いました。この調査は、事業実施による生態系等への影響や、その対策について検討するための基礎データになるものです。

本日は、地元の方々や土地改良区の職員等が参加し、捕まえた動植物の同定は環境省希少野生動植物種保全推進員の島中裕之さんにご協力いただきました。



6月に入り、暑い日が続いています。
農作業される方は熱中症に気を付けましょう。

653回 ～農村環境保全指導員の活動状況27～



6月3日(水)に、国道344号線沿い交通島(酒田市上田地区)で、花苗の植栽活動(花いっぱい運動)が行われました。

地元住民によるボランティアグループ「上田愛花会」が中心となって活動しており、国道344号線が完成した当時から20数年継続しています。

上田愛花会の事務局を務められている佐藤さんは、地区の環境保全活動や活性化活動等を推進するために委嘱している、山形県農村環境保全指導員としても活動していただいております。



(左側)花苗を持つ佐藤指導員



地区の方々約25名が参加しました

この花いっぱい運動は毎年、鳥海小学校の2年生児童と共同で行っており、植栽活動を通じて異世代間交流を図っていますが、本日は新型コロナウイルスの影響を考慮し、上田愛花会のみで行われ、地区の方々からは「残念」という声が聞かれました。



天气が良いと奥に鳥海山が見えます



上田地区コミゼン庭園にも植栽

国道344号線は交通量の多い道路であるため、地元住民のみならず、通行する他地区住民の目も楽しませており、天气が良い日には、この交通島から綺麗に鳥海山が見えます。

本日植えた花の見頃は、8月中旬～9月中旬頃の約一か月間です。

上田地区内を通る時はぜひ交通島の花をご覧ください、心を和ませてみてはいかがでしょうか。

654回 ~おおきくなってね~



6月4日(木)に、庄内町家根合のめだかの里米水田で、めだかの放流が行われました。これは、めだか保全池に住むめだかを里米水田に放流するもので、地区の子供たちがめだかと触れ合う大事な機会となります。



おおきくなあれ~



元気に泳ぐめだか

めだかが住んでいただけるほどきれいな水田(環境)で生産されたお米は、安心安全であり、「めだか米」として販売されたり、「めだかライス酒」として製造・販売されたりしています。



5月25日に余目小学校4年生が田植えした稲は、元気に成長していました。

7月には、田んぼのめだかを排水路で捕獲して、野生に帰したり、めだか保全池に戻したりします。本日放流しためだかは約200匹。めだかは6月に産卵し、500倍に増えることもあるそうです。こうした活動を通じて、野生に住むめだかの数も増えていき、めだかの保全に繋がっています。

引き続き、家根合地区の活動を応援していきます。

655回 ～ドローンパイロットの育成～



6月16日(火)、6月17日(水)の2日間、庄内総合支庁農村計画課・農村整備課の職員を対象にしたドローン操作研修会を開催しました。

研修会では、ドローン飛行に関するルールをガイドラインに沿って確認し、その後、ドローンの操作を参加者全員が体験しました。



ドローン飛行に関するルールを確認



ドローンの操作を体験



ドローンの操作を体験

農村計画課では、区画整理工事の進捗状況の調査や、災害発生により立ち入れない場所の撮影などにドローンを活用しています。

今後さらに幅広く業務に活用できるよう、研修会を継続させていきたいと思ひます。

656回 ～庄内の水がめ「大鳥池」～



6月25日(木)に、大鳥池(ダム)の定期点検に参加しました。

大鳥池(ダム)は、巨大魚タキタロウで有名ですが、農業用水を貯水するため池として整備されており、渇水により赤川の流量が不足した際に下流域の水田11,000haを潤す「最後の頼み水」としての大きな役割を担っています。

今回の点検では、水門や管理小屋などの施設の点検のほか、雪囲い外しや登山道にもなっている堰堤の手すりの設置を行いました。



片道約3時間の登山となります



青々とした木々に涼しさを感じます



雪囲いを外します



手すりを設置します

10月には、冬支度のための雪囲い設置と手すりの撤去が行われる予定です。

657回 ～農村環境保全指導員の活動状況28～



6月28日(日)に、鶴岡市羽黒町川代田代谷地で、鶴岡市立羽黒小学校5、6年生の親子学年行事「ブナの植樹」が行われました。

このブナの植樹は、環境保全の大切さを学ぶために取り組み、今回で21回目となります。

植樹の指導や、ブナの苗木取り、植樹地の下草刈り等を行っているブナ植樹推進委員会メンバーの一人である齋藤さんは、地域の環境保全活動や活性化活動等を推進するために委嘱している、山形県農村環境保全指導員として活動していただいております。



児童へブナ植樹の目的を説明する齋藤指導員。

ブナの植樹を通して、自然の大切さ、海の生き物との繋がり、自然の営みを体験してもらいたいと話す。



植樹を見守る齋藤指導員



植樹の指導をする齋藤指導員

植樹を終えた児童からは、「久しぶりの親子行事ができてよかった」、「ブナのように大きく成長したい」という声が聞かれた。

農村計画課は、地域の環境保全に努めていただいている農村環境保全指導員の活動を引き続き応援していきます。

山形県農村環境保全指導員委嘱状交付

658回 ~よろしくお願ひします~



令和2年度に山形県農村環境保全指導員として委嘱する方々5名へ、委嘱状の交付を行いました。山形県農村環境保全指導員とは、土地改良施設や農地等の保全及び農村地域の活性化の推進に資することを目的として活動いただく方々で、山形県知事が旧市町村単位に4年間の任期で委嘱しており、その活動費の一部を山形県が助成しています。



酒田地域 佐藤指導員



鶴岡市羽黒地域 齋藤指導員



庄内町立川地域 高木指導員



三川地域 伊藤指導員



鶴岡市温海地域 石井指導員

県内合計44名の内、庄内には14名の指導員がおり、各地域に合った活動や、それぞれの得意分野を活かした活動を行っています。

各指導員の活動については、今後発信していきますのでぜひご覧ください。

659回 ～見頃を迎えています～



酒田市飯森山公園のアジサイが見頃を迎えています。
100種類を超える品種が鮮やかに彩るアジサイは、10,00株を越え、訪れた人を楽しませていま
す。



660回 ～おおきくなったかな～



7月22日(水)に、庄内町家根合地域の環境保全活動の一環として、めだかのお引越しが行われました。

このお引越しは、中干しを迎えるこの時期に、田んぼから排水路に逃がしためだかを捕まえ、保全池に移すものです。

めだかは産卵により約500倍にも数が増えるともいわれており、たくさんのめだかを捕まえることができました。



捕まえためだかの一部は、参加した地域の子供たちにプレゼントし、残りをめだかの保全池へ移しました。



子供たちは大喜び



めだか保全池へ

こうした活動は、子供たちが自然と触れ合う大事な機会となります。
引き続き、家根合地区の活動を応援していきます。

棚田スタンプラリー



661回 ～棚田を訪ねて棚田を応援しよう～

山形県では、令和2年7月23日（木・祝）～10月31日（土曜日）の期間で棚田スタンプラリーを実施しています。

県内計14地区の内、庄内では、鶴岡市温海庁舎（暮坪の棚田）と、大網地区地域交流センター（大網の棚田）の2地区にスタンプを設置しています。

スタンプを3個集めると、景品が抽選で当たる応募はがきがもらえます。さらに、14地区すべてのスタンプを集めると、コンプリート賞がもらえます。

まずは庄内地区から、気軽に棚田スタンプラリーに参加してみたいはかがでしょうか？

詳細は下記URLからご確認ください。

<https://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/140017/tanadasutanpu.html>(やまがたの棚田スタンプラリー)



鶴岡市温海庁舎（暮坪の棚田）



大網地区地域交流センター（大網の棚田）

※棚田スタンプラリーの注意点

- 棚田を巡る場合は、農業者や地域住民の通行等の支障とならないようご配慮願います。
- マスク着用のほか、換気や少人数での移動など新型コロナウイルスの対策をお願いします。

上田地区のお花



662回 ～上田地区のお花が見頃です～

第653回「花いっぱい運動」でご紹介した、佐藤農村環境保全指導員の植栽活動のその後をお伝えします。

6月3日に地元の上田愛花会により植栽された花苗は、色鮮やかに咲き誇り、見頃を迎えています。

撮影日は天気が良く鳥海山がきれいに見えました。

稲も黄色く染まり始めるこの時期に、国道344号線をドライブした際は、ぜひきれいなお花をご覧ください。



家根合 稲刈り体験



663回 ～稲刈りを体験しよう～

9月30日（水曜日）に、庄内町家根合地区で、庄内町立余目第一小学校4年生を対象に稲刈り体験会が行われました。

今回稲刈り体験した田んぼは、同じく4年生が田植え体験したところで、成長した稲に驚いた様子でした。

田植え体験は第651回で紹介していますのでご覧ください。



家根合地区での環境保全活動や農業体験は、地区の子供たちの「地域の自然を守りたい」という思いから始まりました。

来週には、家根合揚水機場で魚の学習会が開催されます。

農村計画課・整備課は引き続き地域の活動を応援していきます。